

2023 年 10 月 7 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

『未来』というのは、一瞬一瞬の私たちの選択・決断・実行の積み重ねによって形づくられてゆきます。それは、個人のものは個人の運命のうえに、人類全体のものはその集合平均が世界全体の運命のうえに現われております。その事実を顕微鏡で拡大して見るように詳細に観察すると、個々人の人生というのが、瞬間瞬間の刹那毎に選択・決断・実行を必要とする分岐点（分かれ道）が連続した道程であることがわかります。

そのことを踏まえて、『神聖による繋がり』を求める私たちの意識が辿り着かんとする究極の一点へと意識を向けますと、守護の神霊との繋がり(縦)や身近な人間関係における繋がり(横)から始まり、すべてのすべてがまったく一つに統(す)べられた『完全なるワンネスの境地』『いのちの根源意識』に辿り着くことがわかります。

一口に「ワンネス」と申しまして、その認識の段階は多岐に分かれます。それは、ひとりひとりの『把われの想いの量（制限の容量）』が違うからです。そのことから、意識の制限解除がどの程度進んでいるかによって、人は自らの心身の自由度を決定しているといえます。

私たちは、自らの認識における制限の数が多ければ多いほど低次元の時空しか認識できず、制限の数が少なければ少ないほど種々の在り方を許容すると共に、心内においては、あらゆる可能性(並行未来)を一瞬のうちに同時俯瞰して、意識的に望ましい未来を即選択出来る境涯に入ってまいります。その『あらゆる可能性を同時俯瞰して、意識的に真理に則った未来を迷いなく選択出来る意識境涯』を五次元の意識といいます。

私たちの顕在意識は今、四次元の段階を通過しつつ、五次元の領域に足を踏み入れ始めていますが、これからはインターネットが普及したときに『ネットリテラシー』の必要性が生じたように、『高次元リテラシー』ともいべき”審神(さにわ)する力”が今まで以上に必要になってまいります。

※ネットリテラシー

インターネットを使う上でのマナーを学び守り、インターネット上で自らの知見や能力を正しく生かして有効活用する力

※高次元リテラシー

自らの閃きや直観が生命の源から来たものか、低次元世界の幻惑かを真理に沿って見極めることを前提として、人間が本来持つ無限なる創造力や叡智を惑星や宇宙社会の開発のために有効活用する力

これからの一時期は、様々な勘違いの誘惑がこれまで以上に私たちの前に現われてまいります。常に真理の大道を歩むことを心掛け、謙虚に想いの垢を洗い流しつつ守護霊・守護神に感謝し続けながら、自らの一挙手一投足を虚心坦懐に踏み行なっている場合は、守護の神霊と表面意識がピッタリ一つになっているため、私たちはけっして道を踏み外すこと無く、自らのいのちの大元へと繋がる霊体意識・神体意識に正しく直結しながら、神聖を顕現してゆくことが出来ます。

土曜日の夜はそうように、五次元以上の意識領域にある神聖の視座から自己の心を俯瞰して、もしも精神と肉体の次元上昇にブレーキをかけていた自己中心性・不寛容・独りよがり・自己限定・自己否定等の想いの癖を見つけたなら、宇宙神と一つに結ばれた祈りと印をもって、その未成仏の自分を無条件の愛念で抱きしめながら意識の制限解除を施すと共に、大自然と生きとし生けるものが息を吹き返し、人類ひとりひとりが神聖を思い出すきっかけとなる『宇宙を創生し運行し続けるいのちの大光明』を“発神”してまいります。

2023 年 10 月 7 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 始めのお話

皆さま、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。これからの私達は、メールでお伝えした『意識の制限解除』を意識的に行なってゆくことが、個人個人にとって、とても大切な行ない、ご神事になってまいります。なぜなら、そうすることで私たちは、五次元領域の意識を思い出してゆくことになるからです。

いつもお伝えしております『神聖による繋がり合い』をお腹の底から実感するためには、自らの意識における『制限解除』を、ひとつひとつ丁寧に行なう必要があります。そうすることで、いのちに初めから具(そな)わっている『無限なる数々の要素』を引き出し、活用した意識の用い方が出来るようになるからです。

そのためには、何よりもまず先に、すべての自分を赦し、愛し、認めることが大切です。愛しているつもり、赦しているつもり、認めているつもりでは意味がありません。気付かずにただで、私たちの心の壁には、表面意識で「こんな自分がいたなんて信じられない…」と絶句してしまうような自分がたくさん生息しております。

ちょっとでも心の琴線に触れることを他人にされるだけで、雨雲のような想いが頭をもたげてくるのは、自分の中に赦してない自分と赦されてない自分、愛してない自分と愛されてない自分、認めてない自分と認められてない自分が、消えることなく燦(くすぶ)り、対立しつづけているからです。

そのようなときに、何ごとをも俯瞰できる神聖の視座を身に付けますと、そうした相反する両極の自分を同時に観ることが出来ます。同時に観れたら観れた分だけ、成仏できずにいた把われの想いが成仏して、心を不自由にしていた『制限』がその分だけ解除され、明るい神聖の意識がその分、心の中に広がってまいります。

そうした本当の消えてゆく姿の行ないを実践してゆくためにお勧めしたいことが一つあります。それは、毎日朝起きたときと夜眠りにつく前に、自分自身に対して「Who am I?」「本当の自分ってなんなんだろう？」と自らに問いかけ、心の奥にある神聖からの答えを何度も何度も繰り返し繰り返し、引き出しつづけることです。

それを行ないつづけることは、ついつい五感に閉じ込めりがちな自己認識を神聖の大海原に解き放って、自分自身を俯瞰することに繋がってまいります。そうして自分の内なる宇宙を調和させた程度に応じて、他人との関係性も次元上昇してまいりますし、すべての出来事背景も感情の奥から観ることが出来るようになります。

それは、守護霊・守護神と一体化した意識状態です。その視座から世界を観ますと、この世に生きるすべての人間が好き勝手に動いているだけではない側面も観えてまいります。どういうことかと申しますと、神聖の視座に立つと、守護霊・守護神込みで自分や他人を観ることが出来るようになるということです。

本日、私たちはそのように、守護の神霊と一つになって生きている事実を当り前、当然であると認識して、神々と同じ立場から、地球にかかわるすべての状況や、それらに対する自身の様々な感想を俯瞰しながら、脳裡に浮かぶすべての想いを流れ去る雲のように見つめながら、次元の垣根を越えた『いのちの源の光』を放ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは時間になりましたので、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。三分半の CD を使って行ないますので、眼を閉じて、すべてを一望できる神聖の視座に焦点を合わせてお祈りください。私が「はい、ありがとうございます」と申し上げましたら目を開けてください。それでは始めます。